

平成29年度「地域づくり表彰」事例の概要

受賞名 受賞団体	活動の概要	問合せ先
<p>国土交通大臣賞</p> <p>一般社団法人三國會所 <small>みくにかいしよ</small></p> <p>(福井県坂井市)</p>	<p>三国湊地区は、明治初期まで北前船の寄港地として海運業が盛んな湊町であったが、鉄道や道路網の普及により次第に衰退した。地域特有の建築様式である「かぐら建て」の町並みや250年の伝統がある「三国節」、北陸三大祭のひとつである「三国祭」からなる町の文化を現在でも感じられるが、人口減少が進んでいる地域であり、地域の活力低下や、空き家の急増により伝統的な町並みが失われていくといった問題を抱えている。</p> <p>そこで、一般社団法人三國會所は、湊町の誇りを継承することを目的に文化的・観光的事業の展開を始めた。町の誇りである有形無形文化の保存振興に向け、三国節で湊町を踊り流す「三国湊帯のまち流し」の創設や湊町の研究考察と町家の改修等に取り組む「町家のリノベーション」を通して、歴史を活かした地域づくり、人口減少対策、自主財源の確保を行っている。また、県内最大の観光地である「東尋坊」と湊町を結び、まちなかの周遊を促す「東尋坊～三国湊クルーズとレンタサイクルの運営」や「町家への新店舗誘致と商業連携」等に取り組んでいる。</p>	<p>坂井市 総合政策部企画情報課</p> <p>0776-50-3013</p>  <p>改修したゲストハウス「詰所三國」</p>
<p>全国地域づくり協議会 会長賞</p> <p>狙半内地域センター <small>さるはんない</small></p> <p>運営協議会</p> <p>(秋田県横手市)</p>	<p>狙半内地域センター運営協議会は、狙半内地域内6集落や地域内各団体の代表者により組織された協議会であり、地域コミュニティ部会、地域文化・教室部会、スポーツ・健康部会、住民生活部会の専門部会を設けて活動している。豪雪地帯の雪を地域資源とした「元祖さるはんない幻灯」や環境美化とおもてなしを同時に行う「フラワーロード」等、地域住民の連帯感の醸成はもとより、地域資源の発掘や地域課題の解決を図る事業を実施している。また、地域要望の取りまとめを行うなど、行政との連携強化に向けた取組も行っている。</p>	<p>横手市 まちづくり推進部 地域づくり支援課</p> <p>0182-35-2266</p>  <p>「元祖さるはんない幻灯」作成の様子</p>
<p>全国地域づくり協議会 会長賞</p> <p>新山定住促進協議会 <small>にいやま</small></p> <p>(長野県伊那市)</p>	<p>新山定住促進協議会は、一時休園してしまった新山保育園の再開園や新山小学校の活動を地域で支える活動を行い、新山地区への定住についての関心を高めた。そして、新山地区の更なる活性化を図るために、地域・行政・民間事業者等と協働して、住民がより安心して暮らせるような環境形成を目指した取組へと活動領域を発展させた。</p> <p>地区内外への活動PRや鹿肉を活用した特産品開発など他団体との連携、食育や園舎整備などによる保育園・小学校の応援、定住促進のための空き家、貸家、売屋等の情報提供や情報集約、移住希望者や移住者の相談などのサポート、農業活動の推進、田舎暮らしモデルハウス活用などを行っている。</p>	<p>伊那市 企画部地域創造課</p> <p>0265-78-4111</p>  <p>鹿肉商品「でいあでいあ」</p>
<p>全国地域づくり協議会 会長賞</p> <p>風の会</p> <p>(熊本県宇城市)</p>	<p>交通の要所の移り変わりや大型ショッピングモールの進出などにより衰退していく文化・地域の活性化を図るため、地元女性グループが地元商店街の廃屋寸前の商家を地域活性化のシンボルとして修復し、地域の活動拠点「風の館・塩屋」としたことを機に風の会は活動を始めた。</p> <p>地元住民の特技を活かしたコンサートやギャラリーの開催、廃棄農作物を活用した加工品づくり、活動財源や高齢者の働く場所と生きがいの創出、地域商店や地域住民の特徴・特技を活かした体験まちづくりを通して地域交流を活性化するとともに、震災後の商店街の再建に向けて、古民家再生などにも取り組み、地震に負けない地域と人づくりを行っている。</p>	<p>宇城市 企画部地域振興課</p> <p>0964-32-1906</p>  <p>地元特産を活かした加工品「レンコン饅頭」</p>
<p>日本政策投資銀行賞</p> <p>能美市商工女性まちづくり研究会</p> <p>(石川県能美市)</p>	<p>能美市商工女性まちづくり研究会は、主に市内の店がない地域に月に2回、生鮮三品を中心とした生活必需品の移動販売を実施している。移動販売とあわせて、地域住民の話を傾聴し、ニーズの調査をしたり、高齢者の見守りも行っている。また、山間部に住む高齢者が畑で育てた野菜や花を買い取り、別の地域で販売することで、その方たちの生きがいづくりにも貢献している。任意団体として会則を定め、活動に共感して支えてくれる賛助会員から会費を募集し、活動にあてている。賛助会員向け及び新規賛助会員獲得のために、定期総会の開催のほか、チラシやニュースレターの発行、活動報告会、同行ツアーなども開催している。高齢化社会を迎える中で、移動販売の要望は増加するとみており、第2、第3の移動販売市民グループの育成を目指している。</p>	<p>能美市 地域振興課</p> <p>0761-58-2212</p>  <p>移動販売中お茶や飴でおもてなしをする様子</p>